

第2回土岐川庄内川流域委員会 議事要旨

日時 : 平成15年6月5日(木) 13:00~15:00

場所 : 名古屋逓信会館 3F 桐楓の間

1. 開会

2. 挨拶(局長代理 中部地方整備局河川部河川計画課長)

3. 議事

第1回土岐川庄内川流域委員会議事要旨の確認

第1回流域委員会議事要旨が確認されました。

流域委員会の運営について

次のことが決定(承認)されました。

- ・「情報公開について(案)」、「傍聴にあたってのお願い(案)」は、原案通り承認。
- ・ニュースレターは、委員の顔のみえるものとして議事要旨と少し性格の異なる内容で発行すること。
- ・傍聴者は、委員会に対し「委員会意見シート」により意見を述べるができること。
- ・傍聴者から提出された意見は、次回委員会までに各委員へ配布すること。(各委員はそれをふまえて発言することもある)
- ・委員長から副委員長設置に関する規約改正の発議があり、承認。
- ・副委員長には、松尾直規委員を指名、承認された。

河川整備計画策定を進める体制について

次のことが確認されました。

- ・流域委員会からの情報発信、及び地域懇談会(総称)、行政連絡会議(仮称)での意見のフィードバック等の情報管理は、河川管理者が行うこと。
- ・流域委員会を含めた3者は独立して存在するものであるが、当面は流域委員会が連携のリーダーシップをとることが望ましい。

計画の枠組みと策定の流れ

次のことが確認されました。

- ・整備計画目標の議論にあたっては、基本方針の素案の内容を整理し提示することで、当面、基本方針の素案を背景に整備計画の議論を進めること。

土岐川庄内川の現状と課題

次の意見を頂きました。

- ・流域委員会は、直轄管理区間の河川整備計画を議論するものであるが、治水をはじめ利水、環境等に関連し必要な支川、上流域の情報を提示してほしい。
- ・計画規模に関わる目標レベルについてわかりやすく説明してほしい。
- ・縦断的な治水レベルを評価するために、堤防整備率28%に対し未整備の堤防の状況について提示してほしい。
- ・20～30年間の河川整備の予算的な枠組みを提示してほしい。
- ・背後地の状況に応じて、箇所毎に安全度にばらつきがあってもよいとする考え方もある。
- ・利水の将来ビジョンを考える上で、湯水時における給水制限等の状況を提示してほしい。
- ・防災情報システムに関する説明をしてほしい。
- ・ハード対策とソフト対策の組み合わせを検討していく必要がある。
- ・河口干潟については生息生物の変遷を議論の出発点としたい。また、保全に向けて取り得る手段についても提示してほしい。
- ・干潟への土砂供給の観点から、砂防ダムの状況について説明してほしい。
- ・霞堤など庄内川における伝統治水工法の実態について説明してほしい。

次回の議題について

次のことが決定されました。

- ・7月下旬から8月上旬に現地視察会を行うこと。
- ・その上で、9月上旬に「課題の総括整理と情報の共有化」を議題として第3回流域委員会を開催すること。

4．閉会の挨拶（庄内川河川事務所所長）

5．閉会